

2020年度の10歳若返りに向けた取組みについて(案)

※記載している事業内容は予算要求段階での案であり、
確定したものではありません

2020年度の10歳若返りに向けた取組みについて

万博開催に向けた10歳若返りの取組目標

※健康寿命の延伸に加え、健康状態に応じて、誰もが生涯を通じ、自らの意思に基づき活動的に生活できること

- 府モデル事業のエビデンスを伴う実施結果とともに、他自治体等の先進事例など効果的な事例をもって、府内市町村や庁内関係所属等へ発信する
- あわせて、企業、市町村をはじめとした様々な団体に働きかけを行い、事業実施に向けた連携を進め、**10歳若返り**※の実現に向けた事業の横展開を図る

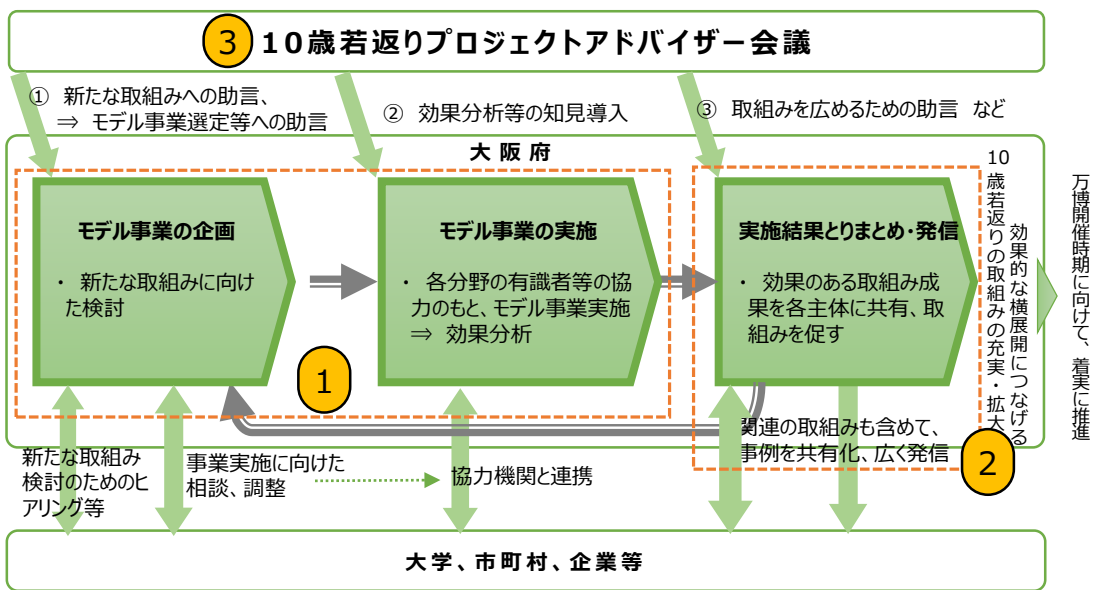
● 2025年の万博開催に向けて、オール大阪で10歳若返りにつながる事業を実施することをめざす

具体的に目指す状況

◆ 「10歳若返り」の意識が府民一人一人に浸透

◆ 府内各地に「10歳若返り」のロールモデルとなる地域や企業が多数存在

10歳若返りの基本的な推進スキーム



2020年度の実施事業(案)

① 10歳若返り実践モデル事業

「10歳若返り」に資するモデル事業実施、効果分析による実践モデルづくり

② 10歳若返り発信事業

「10歳若返り」の内容について、府民や各主体への発信、理解促進と共に連携に繋げていく

①②事業について有識者の助言を得ながら推進

③ 10歳若返りプロジェクトアドバイザー会議

事業推進にあたり有識者の助言を得る会議体

(1)10歳若返り実践モデル事業

- ・10歳若返りのモデル事業では、有識者の意見を踏まえ(1)運動と笑い・音楽、(2)口の健康・食、(3)認知症予防、(4)アンチエイジング、(5)企業の取組促進、(6)高齢社会のまちづくりなどの分野をターゲットに連携の視点や先進技術の視点を踏まえて取り組むこととしている
- ・今年度は特に(1)運動と笑い・音楽、(3)認知症予防、(4)アンチエイジングの分野について重点的に取り組んでいる

取組分野	2019年度の取組内容
(1) 運動と笑い・音楽	<ul style="list-style-type: none"> ◎ 笑いと運動を連携した実践による健康・ストレスの分析 ◎ 楽器演奏の実践による認知機能向上の分析
(2) 口の健康・食	○ 口の健康・食に関する府民向けPRイベント
(3) 認知症予防	◎ AI・ロボットによるコミュニケーションの実践と分析
(4) アンチエイジング	◎ アンチエイジングフェアを通じた意識啓発・情報発信
(5) 企業の取組促進	○ 企業や商工会に地域での取組みを働きかけ
(6) 高齢社会のまちづくり	◎ 地域のサロン活動と健康度のデータ分析

◎ モデル事業等実施(予定含む) ○ モデル事業以外の取組み

◆今年度の取組状況を踏まえた主な課題等

- ・2019年度は、他の分野に比べて(2)口の健康・食、(5)企業の取組促進、について取組みが充分ではなかった。
- ・(6)高齢社会のまちづくりについては、今年度、地域のサロン活動と健康度のデータ分析を行うことから、次年度以降、データ分析も踏まえた事業展開が可能である。
- ・万博を意識したより「先端技術」を取り入れたモデル事業の実施が必要である。
- ・実践モデルの充実を図るためには、府モデル事業の実施に加えて、他府県における先進事例等についても更なる情報収集等を行う必要がある。

など

事業内容(案)

【事業実施スキーム】

○10歳若返り実践プログラムの実施

- ・市町村・企業等と連携し事業者公募等のスキームも活用しつつ実施
- ・参加者は市町村、地域団体、医療・介護関係施設等と調整、連携して募る
- ・専門家の研究内容を踏まえた実践的なプログラムを実施

○効果測定

- ・有識者により、検査・データの解析を行い、エビデンスを取りまとめ

○実践モデル作成

- ・取組み手法や効果などを分かりやすい形で取りまとめて、実践モデルを作成

○実施期間

- ・通年実施(年度前半：取組み実施、後半：効果測定とフィードバック)

(2)10歳若返りの情報発信について

◆10歳若返りの発信・共有にあたっての方向性

- ・各ステークホルダーの取組拡大へとつなげるためには、府HP等での発信に加え、更なる積極的な発信・共有・働きかけが必要
- ・取組事例については、市町村で「10歳若返り」に関する取組を行っている部局(健康・福祉部局等)や保健師等の専門職等に向けて的確に発信・共有することが必要
- ・ステイクホルダー同士(市町村同士、企業と市町村等) が連携できるような発信・共有を行うことが重要

事業内容(案)

(1)10歳若返りの実現に向けた行動変容を促すための情報発信

①ターゲットを絞った参加型のセミナー・シンポジウムの開催

- ・市町村の担当部局(健康・福祉部局)や専門職(保健師等)などを対象にセミナー・シンポジウムを開催し、参加型の積極的な情報発信の場を設ける等、府モデル事業をはじめとした様々な先進事例について情報交換を実施する(年度前半、後半の2回開催)
- ・内容は研究機関の専門家によるアドバイスをはじめ、連携企業による先進事例発表等によりステイクホルダー同士の連携にもつなげる
(例：健康づくりアワード(健康医療部)や健康産業有望プラン発掘コンテスト(大阪産業局)受賞者による事例の発表 等)

②10歳若返りに関係するイベントを活用した意識啓発・情報発信

- ・各種イベントの場を活用して、府民に対して10歳若返りに向けた意識啓発・情報発信を行い、行動変容につなげていく

※参考 2020年度アンチエイジングフェア(予定)

【期間】2020年5～6月頃

【場所】大阪市北区役所

【対象】一般府民(アンチエイジングフェア来場者) 【内容】フェアの場を活用し、広く情報発信

(2)10歳若返りに関する意識調査

- ・府民一人一人への10歳若返りの意識の浸透をめざすとともに、事業推進の指標が必要であることから毎年度、意識調査を実施する
- ・調査結果を活かして、よりターゲットを絞った効果的、効率的な「10歳若返り」の事業推進を行う

(3)SNS等を活用した情報発信

- ・「10歳若返り」に賛同する市町村、企業の取組みを幅広く募る
(庁内関係部局による10歳若返りに資する取組みとも連携(例：健康づくりアワードや健康産業有望プラン発掘コンテストの受賞者に働きかける 等))
- ・賛同する取組みについて「10歳若返り」専門CH、YouTube、SNS(FB、ツイッター)等の発信ツールを最大限活用して発信していく